

地球温暖化対策実行計画 令和2年度実績報告

比企広域市町村圏組合は、令和3年3月に「第3次比企広域市町村圏組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、温室効果ガス排出削減に向けての取り組みを推進しています。

取り組み結果

	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	削減量 (基準年度比)
温室効果ガス総排出量 (kg-CO ₂ /年)	1,013,866	1,076,211	+62,345 (+6.1%)

温室効果ガス総排出量の状況

単位：kg-CO₂

		令和元年度 (基準年度)	令和2年度	増減量	
電気使用による排出量		381,315	479,737	+98,422	
燃料使用 による 排出量	ガソリン	170,991	149,568	△21,423	
	軽油	82,798	82,723	△75	
	LPG	22,298	24,117	+1,819	
	灯油	352,012	336,162	△15,850	
自動車 走行 による 排出量	ガ ソ リ ン	普通・ 小型乗用車	506	398	△108
		小型貨物車	0	0	0
		特殊用途車	3,321	2,927	△394
		バス	55	31	△24
	軽 油	特殊用途車	570	548	△22
温室効果ガス総排出量 (基準年度比)		1,013,866	1,076,211	+62,345 (+6.1%)	

施設別使用量の状況

所 属	取り組み項目	令和元年度 (基準年度)	令和 2 年度	増減量	
消 防	電気使用量 (kWh)	851,857	871,198	+19,341	
	燃 料	ガソリン (ℓ)	71,706	63,720	△7,986
		軽油 (ℓ)	32,031	32,002	△29
		LPG (m ³)	3,333	3,655	+322
		灯油 (ℓ)	0	72	+72
事務局	燃 料	ガソリン (ℓ)	796	510	△286
齋 場	電気使用量 (kWh)	231,333	275,566	+44,233	
	燃 料	ガソリン (ℓ)	1,149	193	△956
		LPG (m ³)	78	34	△44
		灯油 (ℓ)	141,400	134,961	△6,439

令和 2 年度の温室効果ガス総排出量は 1,076,211 kg-CO₂ となり、基準年度（令和元年度）比で 62,345kg-CO₂、約 6.1%の増加となりました。

消防では、新型コロナウイルス感染拡大から不要不急の外出自粛に伴う屋外での活動制限、感染防止対策の徹底によるインフルエンザ等感染症罹患者の減少により、令和 2 年度における救急出動件数が基準年度比で約 1,100 件減となっていることがガソリンの使用量減少の要因になっています。

一方、電気使用量は新型コロナウイルス感染拡大対策として別室を利用して職員の分散勤務を実施したことにより、冷暖房機器等の使用頻度が増えたことから増加しました。

齋場においては火葬炉設備の更新により、火葬 1 件あたりの所要時間の短縮が灯油使用量の減少に繋がり、また、霊きゅう車利用件数が約 400 件減少したことにより、ガソリン使用量が基準年度比で大幅に減少しています。

一方、令和 3 年 1 月から新火葬棟の供用開始及び葬祭棟の利用再開に伴い、基準年度比で電気使用量が大幅に増加しました。

温室効果ガス排出量の削減に向けては、今後も引き続き照明器具の部分消灯や冷暖房機器使用時の温度調節、カーテンやブラインドでの遮光、断熱など業務や健康上支障のない範囲で節電・省エネに取り組めます。また、緊急車両を除く公用車両の運転時には急発進・急加速を避けるとともに、ルート設定の見直しや先を見越した運転で発進、停止回数を減らすなど、エコドライブを励行してまいります。